



国際交流基金 2019年度海外派遣 日本語専門家募集のお知らせ



国際交流基金では、各国教育省、
中等・高等教育機関、
国際交流基金海外拠点などに、
日本語上級専門家・日本語専門家・
日本語指導助手を派遣しています。

書類提出期限：2018年8月15日(水)

お問い合わせ先

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)
日本語事業部 事業第2チーム 日本語専門家派遣 公募担当
Mail:sakura_adoption@jpf.go.jp

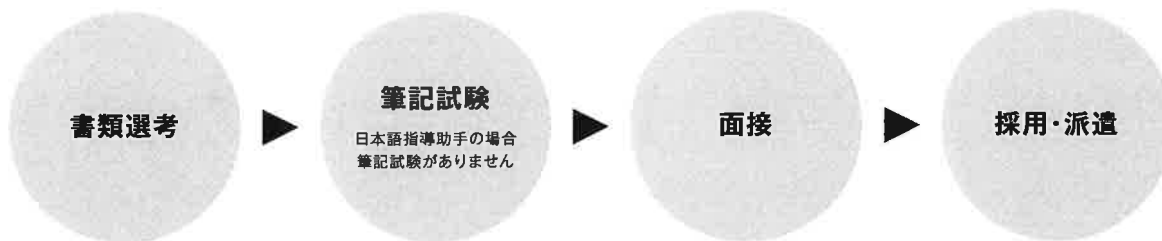
詳しくはWEBで!

国際交流基金 日本語専門家 [検索](#)



JAPANFOUNDATION

応募・選考の流れ



応募要項

	日本語上級専門家	日本語専門家	日本語指導助手
業務内容	現地日本語教師の育成、教材・カリキュラム・教授法に関するコンサルティング、日本語教師間のネットワーク作りなど、派遣先機関・国における安定的な日本語教育の実施や質的改善に必要な支援の実施。(業務の難易度、派遣者の業務経験を踏まえて「上級専門家」「専門家」にわかれる)		国際交流基金海外拠点や各国の日本語教育機関において、必要に応じて日本語上級専門家、専門家の指導を受けながら、日本語講座の授業や日本語教育事業を単独ないしチームの一員として担当する。
募集人数	10名程度	20名程度	3名程度
任期	2019年度中に派遣 通常2年 (1年の延長の可能性あり) (任国の諸条件により2年未満の場合あり)		2019年度中に派遣 通常2年 (任国の諸条件により2年未満の場合あり)
資格	<ul style="list-style-type: none"> ①日本国籍を有し、日本語を母国語とする者 ②2019年4月1日現在65歳未満 ③心身ともに健康であること ④日本語教育関連分野で修士号以上(2019年3月末までに取得可能な者含む) ⑤日本語教授経験10年以上 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①日本国籍を有し、日本語を母国語とする者 ②2019年4月1日現在65歳未満 ③心身ともに健康であること ④日本語教育関連分野で修士号以上(2019年3月末までに取得可能な者含む) ⑤日本語教授経験2年以上 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①日本国籍を有し、日本語を母国語とする者 ②2019年4月1日現在で35歳未満 ③心身ともに健康であること ④4年制大学卒業以上(2019年3月卒業見込みも含む) ⑤大学または大学院で日本語教育を主専攻または副専攻として修了(2019年3月修了見込を含む)、または日本語教育能力検定試験合格者、または日本語教師要請講座(420時間)修了者 <p style="text-align: right;">など</p>
待遇	旅費、報酬等(基本報酬、在勤加算、家族加算、子女教育経費、住居経費、研修補助費等)を支給。共済制度あり。		旅費、滞在費、住居経費、研修補助費等を支給。共済制度あり。



詳しくは

上記に掲載以外の詳しい募集要項、応募用紙、業務内容・派遣先・派遣時期・待遇
昨年度の試験問題などについては、国際交流基金のホームページに掲載されています。
http://www.jpff.go.jp/j/about/recruit/japan_31.html

お問い合わせ先

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)
日本語事業部 事業第2チーム 日本語専門家派遣 公募担当 Mail:sakura_adoption@jpff.go.jp